

令和5年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

1 事業の成果

当法人は、ボランティア体験学習は青少年が自ら「人間力（自助力と共助力）」を育む有効な取組の一つであるとして、学校や団体等にその実施を働きかけている。当年度もふれあいボランティアパスポート（FVP）を活用したV体験学習を普及、推進し、2万人を超える児童生徒が学校等を通じて参加した。また、指導者への情報提供事業として、オンラインスクールボランティアサミット（SVS）を開催し、「探求サイクルの捉え方、進め方を考える」をテーマに総合的な学習の時間においてのボランティア体験学習の取組とFVPの活用を提唱した。FVPの有効性を更に確認するための調査・分析にも着手した。

また、昨今、学校において学校の働き方改革やICTの活用が求められているなかで、このような環境においても当法人のFVP事業が対応できるよう、学校での取りまとめや当法人とのやり取りの電子化等の仕組みづくりに着手した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用額【 1,933 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
遊びやボランティア活動、体験学習等を通じた青少年健全育成事業	1. ボランティア体験学習推進事業 (1) ふれあいボランティアパスポート（FVP）事業 ①FVP参加校・団体の募集 ・参加校・団体数：78校・6団体、参加児童生徒数20,199人	4月~3月	当法人事業所	2人	FVP参加校・団体の教師、児童生徒	25,000人	1,306
	②ふれあいボランティア活動感想文募集 ・参加：小学校5校1団体、中学校1校、高等学校3校 応募児童生徒数57人 ・表彰：大賞1人、小学生賞7人、中学生賞1人、高校生賞7人 受賞者に表彰状・缶バッジ・感想文集を贈呈し、応募者全員にふれあいシールを提供。 ・感想文集作成：1,000冊。FVP参加校・団体等に配付。	10月~3月	同上	5人	FVP参加校・団体の教師、児童生徒、保護者	1,000人	
	③ふれあいボランティア体験学習推進学校・団体賞 ・小学校4校に表彰状を贈呈。(感想欄回収率100%以上)	3月	同上	2人	受賞校教員・児童生徒、保護者	3,000人	
	④教育委員会・団体へボランティア体験学習とFVP活用の働きかけ ・対象：都内4区市の教育委員会、学校 訪問、電話、資料郵送等により、次年度1校参加が確定。1校検討中。	4月~3月	都内4区市	4人	教員、教育委員会職員等	1,000人	
	⑤親子で“ちょいボラ”学習会 ・2月1日(木)第2回親子で“ちょいボラ”学習会開催。 ・場所：品川区の大学付属幼稚園・時間：9時30分~10時30分 参加人数：保護者、幼稚園園長他13人。	2月1日	品川区幼稚園	3人	幼稚園園児・保護者	100人	
フォーラムや講演会、研修会、コンサルティング、講師派遣等の普及啓発事業	2. ボランティア体験学習情報事業 (1) オンライン・スクールボランティアサミット（SVS） ・10月8日(日)Zoomによるオンライン開催。 ・時間：10時30分~12時00分 ・講師：日本生活科・総合的な学習教育学会顧問 ・講義&質疑応答：テーマ「探求サイクルの捉え方、進め方を考える」 ・参加者：教員、教育委員会職員等38人。	10月8日	当法人事業所	3人	教育委員会・学校 市教育委員会	1,000人	245
	(2) 青少年地域ボランティアサークル活動(SVC)普及事業 ・ボランティア学習会(東京都奉仕・ボランティア教育研究会、東京都社会福祉協議会共催)、広がれ「ボランティアの輪」連絡会議(全国ボランティアフォーラム)、青少年教育のつどい(国立青少年教育振興機構)等に出席。当法人の活動を紹介。	8月21日 11月23日 3月28日	東横ビル 全社協ビル 国オオサセ	2人 1人 1人	社会教育団体 教師、福祉教育関係者	50人 100人 80人	179
	(3) FVPを活用したボランティア体験学習についての調査・分析 ・FVP回収感想欄分析調査 対象：2019年度FVP参加小学校15校、中学校11校 「意識」「ボランティア活動内容」「リフレクション定着状況」の3調査に着手。 ・FVP情報の電子化について情報収集 情報システム会社及び学校からのヒアリング実施。 FVPを活用した学校内システム化のフォーム作成。	12月~3月 5月~3月	当法人事業所 会社・学校	2人 2人	教師、指導者	2,000人	100
広報事業	(4) FVPを活用したボランティア体験学習の情報発信 ・当年度のFVP参加校のボランティア体験学習の活動写真・情報をホームページに掲載。 ・TwitterやSENSE I イベントポータルサイト、日本教育新聞等にFVP参加募集やO・SVSの開催情報を配信。 ・企業の寄付情報サイトに当法人の活動を掲載。	4月~3月	当法人事業所	2人	ボランティア体験学習・FVPに関心のある機関・団体等 学校、教育関係者	2,000人	103
合計						1,933	

令和5年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

(単位: 円)

科	目	金額	小計・合計
(A)	経常収益		
1	受取会費		377,000
	正会員受取会費	98,000	
	賛助会員受取会費	279,000	
2	受取寄附金		1,631,763
	受取寄附金	1,424,853	
	資産受贈益	206,910	
3	受取助成金等		0
	受取助成金	0	
4	事業収益		18,000
	事業収益	18,000	
5	その他の収益		4
	受取利息	4	
	経常収益計		2,026,767
(B)	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		1,933,444
	売上原価	7,356	
	諸謝金	25,274	
	印刷製本費	255,596	
	会議費	0	
	旅費交通費	20,232	
	通信運搬費	142,814	
	地代家賃	937,200	
	水道光熱費	37,389	
	減価償却費	51,728	
	消耗品費	13,241	
	リース料	7,920	
	諸会費	63,130	
	新聞図書費	4,581	
	支払手数料	266,983	
	支払寄付金	100,000	
	事業費計		1,933,444
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		24,702
	印刷製本費	1,350	
	旅費交通費	812	
	通信運搬費	15,928	
	消耗品費	1,772	
	支払手数料	4,840	
	管理費計		24,702
	経常費用計		1,958,146
	当期経常増減額【A】-【B】・・・①		68,621
(C)	経常外収益		0
	固定資産売却益		
	過年度損益修正益		
	経常外収益計		0
(D)	経常外費用		0
	固定資産売却損		
	過年度損益修正損		
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
	税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		68,621
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		1,655,164
	次期繰越正味財産額③-④+⑤		1,723,785

令和5年度 貸借対照表

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	333,655	
	青少年人間力育成事業用預金	400,238	
	棚卸資産	639,994	
	前払費用	69,938	
	流動資産合計・・・①		1,443,825
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		155,182
	什器備品	155,182	
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		140,000
	敷金	140,000	
	固定資産合計・・・②		295,182
【A】	資産合計 ①+②		1,739,007
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	15,222	
	流動負債合計・・・③		15,222
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		15,222
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	1,655,164	
	当期正味財産増減額	68,621	
	正味財産合計		1,723,785
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		1,739,007